

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	・公文式の学習療法士1級の資格取得者が2名在籍しており様々な学習に取り組んでおります。以前と比べ学習能力の個人差が大きく、出来るだけその方にあった教材で実施しております。	・個人に合わせてた学習を用い、認知機能やコミュニケーション機能、身辺自立機能など維持・改善を図る。	・毎日少人数(1~2名)職員がゆつくりと向き合い学習療法を実施することで集中力や達成感の喜びを感じて頂く。 ・入居者の認知機能脳検査だけではなく、その時の心身の状態にも留意しながら、その方にあった学習を進めることで笑顔や心の安定を図る。	12ヶ月
2	10	・認知症の種類は様々で、状況状態も多様化しております。そんな中でどのような状態の方が来ても、その利用者がよりよく生活出来る為の課題とケアの在り方について計画をもって柔軟に対応していきたい。	・認知症の種類や症状、その対応の在り方等をよく理解することにより、可能性のある症状を予測でき事前に予防し安心した生活を送れるよう支援する。	・全体会等で重ねて勉強会を行う。 ・沢山の事例も聞き検討する。	12ヶ月
3	19	・緊急時、利用者急変時等ご家族への連絡体制として、契約時に十分説明し、ご家族3人以上は連絡先を伺っているが、どの方も連絡がつかない事がある。	・利用者が緊急時、利用者急変時が大いに起こりうることの理解を深めて頂き、いつでもすぐ連絡が取れる体制を作る。	・ご家族へ事あるごとに緊急時の対応について説明し、いつ連絡しても対応して頂ける様理解を深めて頂く(家族会、面会時等)	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。